

舞と語りと音楽 「さりともと思う心にはかられて」



2025年5月17日(土)

4時半開場 午後5時開演

京都法然院

ご挨拶

「さりともと思う心にはかられて」というタイトルは、『浅茅が宿』に登場する妻、宮木の歌からとりました。

今回も、阿部慶子さんの素晴らしい笛の御演奏と、ヤススキーさん作・演奏の楽器、電子テルミンの不思議な音色に乗せて、人村朱美さんの研ぎ澄まされた語りを味わっていただきます。

舞は水田光世先生のしめやかで奥深い地歌と三絃の調べをお聞きいただく中でご覧いただきます。

一部では哀愁に満ちた物語「浅茅が宿」と地歌舞を。二部では安珍清姫の伝説の語りの後に、地歌舞を舞わせていただきます。

「秋には帰る」と言った夫を信じて、七年もの年月を待つ美しい妻『宮木』。
そして、「必ず戻ってくる」と嘘の約束をして、別の道に逃げていく美しい僧に、騙されたと知って追いかけてゆく『清姫』。

男性にとりましては「女は怖い」？ かもしれない、女性には「男は不実」？ かもしれない二つのお話ですが、どのように思われますかは、お気に召すままに。舞では二人の女性の、純粋で切実な思いを感じとっていただければと、願っております。

古澤侑峯

-----演目-----

○ 一部

「雨月物語『浅茅が宿』」上田秋成作

語り・台本／人村朱美

所作／古澤侑峯

演奏／阿部慶子、ヤススキー

「黒髪」

作曲／初代湖出市十郎

作詞／初世桜田治助

舞／古澤侑峯 演奏／水田光世

「影法師」

作曲／幾山検校+北村文 作詞／橘真丸

舞／古澤侑峯 演奏／水田光世

○ 二部

「安珍・清姫物語」道成寺伝説より

語り・台本／人村朱美

演奏／阿部慶子、ヤススキー

「古道成寺」

作曲／岸野次郎三作曲、詞／能をもとに作詞

舞／古澤侑峯 演奏／水田光世



●会場 法然院 京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町30

★阪急四条河原町駅⇒市バス32系統 銀閣寺前行
南田町下車 山に向かって徒歩5分

★JR京都駅・京阪三条駅⇒市バス5系統岩倉行
浄土寺下車 山に向かって徒歩10分

★京阪出町柳駅⇒市バス錦林車庫行 浄土寺下車
山に向かって疏水を渡り徒歩10分

●入場料 前売・六千円 当日・七千円

●お問合せ・申し込み お名前・人数・ご連絡先
と「5月17日「さりともと…」申込」とご明記の上、下
記に送信願います。

<http://ufo-mai.jp/contact/>

(又は ufo,furusawa@gmail.com)

●主催 地歌舞古澤流 古澤侑峯

●協力・後援 伝統文化創造推進機構

古澤 侑峯 ふるさわ ゆうほう 舞



地歌舞古澤流二代目家元。「地歌舞(じうたまい)」「御殿舞(ごてんまい)」を修め、古典の発展普及に努めつつ実験的活動を重ねる。奉納舞(清水寺、伊勢神宮等)、主催公演(横浜能楽堂や鍬仙会能楽堂等)多数。デザイン会議や花博出演、外務省派遣、各国招聘公演多数。(カサハラホール、シスカッパル電子音楽祭、ハツチ宮殿、ハルサイ・ピアノ宮殿、マルボルク城、USA桜祭り100年で5都市公演、ロストック花博日仏国交160周年記念パリグリーンリボン賞・大阪芸術祭賞・京都芸術賞等受賞。「源氏舞五十四帖」制作2001～2008年に完成。2023年パリ、ケルン公演、セミナー、ワークショップ開催、好評を博した。

人村 朱美 ひとむら あけみ 舞台俳優。



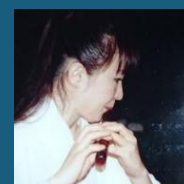
福井県敦賀市出身。1999年敦賀市に拠点を移し、朗読・合唱団等の構成・演出担当。邦楽・洋楽・舞・映像等、ジャンルを越えた舞台創りで活動中。一人芝居や長編朗読、一人漫才等作品多数。映像出演はNHKドラマ『蔵』、CM、日韓共作映画『力道山』等でも活躍。舞台は『ジュリアス・シーザー』『アントニオ・パトラ』、ニール・サイモン作「おかしな二人女性版」、『光と影』河村能舞台'構成出演、『そば屋騒動記』(主役)、WEBドラマ『162のキセキ』等。構成・演出・プロデュースは、敦賀市民劇『熊谷ホテル物語』、『9・11日米合同追悼コンサートinニューヨーク』、『福井県選抜芸能祭特別部門』は毎回、兵庫県芸術文化センター企画『鏡花と夢二』構成・演出・朗読、等多数。『源氏舞』には「語り」で参加。海外招聘作品のライブ・イヤホンガイドとしても知られている。

水田光世 みずたみつよ 地歌・三絃



関西箏曲会の重鎮、宮城会の山田茂子師に師事。その後九州系地歌 生山之子氏社中となり、後継者である結城玲子師に師事して現在に至る。古典、宮城曲を中心に第一線で活躍、NHKFMに毎年出演。実力派として注目されている。

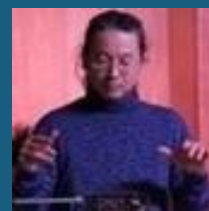
阿部 慶子 あべ けいこ 笛。



謡曲・仕舞を観世流河村隆司師に入門。能管を森田流野口博之輔師に、能管・篠笛を藤舎名生師に師事。名取名は藤舎敦生。

国内公演多数。映画・ドラマでも作曲・演奏に携わっている。

ヤススキー 創作楽器演奏。



十代前半頃から音響機材の設計・製作を始める。放送局勤務のち国際情報科学芸術アカデミーIAMAS(大学院大学)に入学、2001年卒業、音響システムの楽器製作とそれらを駆使した演奏活動を行っている。